



令和4年3月7日  
令和3年度学校だより NO.54②  
加古川市立平荘小学校

## 狂言発表会リハーサルから さらにレベルアップをめざして（6年生）

2月28日（月）に、6年生は、狂言発表会のリハーサルに臨みました。子どもたちは、いつも一生懸命に自分の役を演じようとしています。

6年間の集大成の一つとしての狂言発表会です。1年生の時から徐々に培ってきた伝える力、表現力、読解力、そして、仲間と共に一つのことを成し遂げようとする心、チームワーク、広い視野に立ち物事を冷静に考えられる心（自分たちを支えてくださる存在に気付き感謝の気持ちをもつ）等、狂言の学習を通して、今まで培ってきた力や心の集大成をしています。今の時点で満足するのではなく、更に高みをめざして努力し続ける6年生です。

3月3日（木）には、6年生は、狂言発表会のリハーサルに関わった教師と共にリハーサルをふり返りました。



みなさん、リハーサルはどんな気持ちで臨みましたか？  
一人一人の演技はよく声が出ていましたよ。

狂言は、前の人から自分、自分から次の人へと演技がつながっています。

移動時の足音にも細心の注意が必要です。友だちの演技を支えていくと、さらによくなりますよ。



まず、2月28日（月）のリハーサルは、どんな目標をもって臨んだのかを、みんなで確認しました。そして、山口耕道先生がリハーサル後にご指導くださった内容を全体で再確認しました。

3月10日（木）の本番を、さらにパワーアップした状態で狂言の発表ができるようにするにはどうしたらよいのかを、6年生のみんなで考えました。

「何が足りないのかな？みんなで一緒に考えてほしい。」という山口耕道先生の言葉をもとに、みんなで、今の自分たちの演技に何が足りないのかを考えました。一人一人が真剣に考えました。

さすが6年生です。みんなで考えると、いい意見がどんどん出てきました。

「今までは、山口先生に指導をさせていただいて骨組みができた状態です。今度は、自分たちがさらに工夫をして、肉付けをしていくことが大切です。言われたことに従うだけではダメなんです。自分たちで仕上げるんです。」と。



また、多くの子どもたちが、「つなげることが大事です。」「チームワークが大事です。みんなで一つの表現を創り上げるのです。」と発表しました。「みんなで一致団結することが大事だ。」とも言っていました。やらされるのではなく、自分たちで考えて動かない限り前には進まないことに気付けたようでした。

山口耕道先生の「何が足りないのかな？」という問いかけに、全員が自分のこととして考え、答えを見つけていきました。



狂言発表会まで、あと1週間ですが、「何が足りないのか」を見つけて練習するのと、見つけないまま練習をするのでは本番の演技に違いが出てきます。



みんなでよく考えましたね。3月10日までの1週間、何を意識して練習をすればよいかを自分たちで見つけましたね。



本番までの1週間の自分たちの目標が決まったところで、リハーサルのDVDを視聴し、自分たちの演技を確認していきました。その際には、教師が一人一人の演技に対してのアドバイスを記したメモを配付し、それをもとに振り返りました。

この話し合いの後、6年生の自主性・主体性は益々アップしています。本番が楽しみです。